

KOCHI 2018 ROTARY 2019 CLUB SINCE 1937



週報



Weekly report 第3380回

2019年2月5日 2019年2月12日発行

● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。先日「ロータリーの友」12月号のバリー・ラシン会長の、7月号の記事を紹介いたしました。表紙のコピーが小さくて見にくかったようですので、大きくコピーしたものを各テーブルにお配りしましたので、ご覧ください。

この件に関しては、今日の週報にバリー・ラシン会長がおっしゃったことを、私の挨拶として載せていますので、お読みください。反対向いているフラミンゴがインスピレーションを与えているわけですが、自分にとってこのフラミンゴって何かなと思い出してみました。印象に残っているのは2人の方、仙石貢と吉田茂の話です。

仙石貢さんは、高知出身の鉄道省（現・国土交通省）の大臣。変人と言われた人で、大臣当時は雷大臣と言われた

そうです。けれど、素晴らしい仕事をたくさんされています。大臣になって高知に帰ってきたとき、支援者が集まって大きなパーティを開きます。そこで、大臣が冒頭に「私が大臣になったということは、高知に鉄道が全線引かれるのは全国で最後になります」と言った挨拶をします。

もう一つ、吉田茂の選挙区は高知県です。高知に遊説に来たとき、久礼坂はまだ舗装されておらず、山を越えてきた吉田茂に、支援者の方が「先生、ここトンネルを掘ってください」というと、彼は「日本のために仕事してるんで、高知のためにやってるんじゃない」と言ったそうです。

両方の話を聞いたのは、私がまだ学生時代です。そのときから、できるだけ全体最適で物を考える人間になりたい、我田引水をしない生き方をしたいと思ったのですが、思っただけでなかなかうまくいきません。



■本日のプログラム [2月12日]

ゲストスピーチ

高知税務署 法人課税第一部門統括国税調査官
井上 順次 氏
『「軽減税率制度 インボイス制度」について』

会 長	横 田 英 毅
副 会 長	大 久 保 千 堯
幹 事	中 島 和 代
副 幹 事	中 澤 陽 一
会報責任者	武 樋 泰 臣

● **ロータリーソング** 「奉仕の理想」

● **来訪ロータリアン**

高松西RC 松木 裕之氏



● **お客様**

米山記念奨学生 ラナワカゲ チャミラ デシャニさん

● **親睦委員会より**

昨年の忘年夜間例会の二次会に参加された方は、会費入金を銀行振込及び本日ロビーにて取めていただきますよう、お願いいたします。

◆ **委嘱状伝達**

高野一郎会員 (2019-2020年度 国際奉仕委員会国際奉仕ファンド小委員会委員)



● **社会奉仕委員会より**

1月27日に社会奉仕委員会より、地球33番地記念式典でのバザーの提供用品のお願いをFAXで送りました。食べ物や飲み物以外で未使用のものを提供いただけたらと思います。例会日、もしくは事務局までお届けください。ご協力をよろしくお願いいたします。



● **会員スピーチ**

Super Regional Universityを目指して

高知大学学長 櫻井 克年 会員



私は大阪生まれです。学生時代はずっとバンドをしていました。私はピアノ弾きで、高校生のときはピアノ系か実験系にいくか悩みましたが、音楽系は人気商売ですから、これで一生いくのは辛いなと思って地質の道を選びました。

私は土壌学が専門で、主に東南アジアで仕事をしていました。1m×1m×1mぐらいの穴を掘って、その土がどうしてできてきたか、どういう性質を持っているか、ここの人たちがこの土を使って生きていくとしたら、今から10年、20年どんなやり方があるだろう。農業、林業、魚の池を作るかもしれない。そんなことを考えながら仕事をしていました。

平成元年、お世話になった教授から高知へ行けと言われて赴任してから、もうすぐ30年です。その先生からは、行くからにはそこで骨を埋めるつもりで行け。土は日本中、世界中どこにでもある。どこにいるから研究できる、できないは言わせんぞと言われてきました。

高知に来てからは、田んぼへ行けばおんちゃん、おばちゃんと土佐弁で喋ります。英語、タイ語で普通の会話はできます。インドネシア語とマレーシア語は若干というレベルです。

10年前から高知大学の理事として、総務・国際・地域・評価・企画、何でもやる理事になれと言われて、医学部出身の学長さんの下で修行させていただき、昨年4月に高知大学学長に就任して10ヵ月近くになります。

高知大学は、昭和24年に旧制高知高校などを母体に文理学部・教育学部・農学部を設置。52年に文理学部を人文学部・理学部に改組。平成15年高知医科大学と統合し、平成16年、大学法人に移行。法人になると自由が与えられてものすごくいいんですよという前触れは全くのウソで、予算では10年続けて多くの人件費を減らされて、大学の運営は地獄の連続です。

その中で、改革が遅れていると財務省等から指摘が入ります。当時、高知大学は第2期の地方大学から地域の大学へ、地域になくってはならない大学へと変わってきたところで、次の第3期、平成27年に地域協働学部という、日本で初めての学部を創りました。この学部は、1学年わずか60人、先生は25人、こんなに密に教育する組織は日本中探してもありません。現場へどんどん入っていき、高知県内の西から東まであちこちにフィールドがあつて、学生たちは4年間、600時間以上の実習をし、地域でやったことを基に卒論を仕上げます。現地の方たちには、学生に絶対教育をしてください。現場が困っているからこうしてくれではなくて、こうしたいから手伝ってと言ってくれとお願いしながらやっている教育組織です。この後、10ぐらいの大学で似たような学部ができましたが、ここまでやれる大学はありませんとい



うぐらいますごい組織です。

28年、農学部を農林海洋科学部に改組。うちには海洋コアという世界規模の研究所があります。ここにある海底コアは世界に3カ所しか保管庫がなくて、非常に貴重な資源を扱って研究している集団です。それも取り込んで、山のてっぺんから海の底までということをやっ取りコピーにして改組しました。29年、理学部を理工学部へ改組。地球環境防災学科という名前の学科を創って、高知大学は理工学部できちんと地域と向き合って防災をやりますということを示す学部へ改組しました。教職大学院では、高知県で働いている先生方の修士の教育を行います。15人の定員のうち、毎年10人が高知県から送られてきます。高知県も教育の将来を考えて、それを高知大学と一緒にやっていくという証しだと思います。現在は、大学院の改組も行っています。

Super Regional Universityというのは、地域の大学の一等賞になろうというのを目標に掲げています。そのための仕掛けは10年以上前から取り組んでいるものもあります。

地域課題の解決：KICSでは、4人の先生に地元（西・東・北・中央）に家族ごと住んでもらって、信頼関係を醸成し、課題を挙げていきます。二つめが人材育成：土佐FBCです。社会人向け、高知県民向けの講座を10年以上開催しています。卒業生は約400人、ビジネスマッチングをしながら、自主的にどんどん物ができるようになり、経済効果十億億というところまで発達しています。次のフェーズでは、研究者を育てて底力を上げていこうとしています。

昨年4月、希望創発センターを発足しました。ここでは、都会の上場企業等20社ぐらいと県内のやる気のある企業さんも入れて、30社ぐらいから手弁当で来ていただいて、うちの先生、学生と一緒に研究会をして、新商品の開発や未来をどう考えていくかといったことを議論しています。発足してまだ1年未満ですが、既に商品に行き着きそうなものも出始めています。

もう一つの仕組みが、何十年もやってきた地域連携ですが、これからは地域連携の次のフェーズ、次世代の地域を創る、次世代地域創造センターです。どんどん県の中心

に入って、Super Regional Universityとして、地元とともに頑張る仕組みをもっと回そうというものです。10年先、20年先の高知に向けて、どんな産業を創出していくのか、何がもっと強みになるのか、このセンターが推進のエンジンとなります。

今や高知県と高知大学は、お互いに「こんなのやってくれませんか」「いいですよ」とさっと応えられる関係になっています。県のやる気も全然違っています。多様な園芸作物の整理・生育情報のAIによる可視化と利活用を実現するIoP等の最先端の研究を行い、高知県にいたるたくさんの篤農家たちが持っているノウハウをきちんと数値化し、情報のデータベースをきちんと作って、それをつなげて日本中、世界中に売ってやろうというところまでを視野に入れています。このプロジェクトでは、10年で75億、その内、県費で出るのが50億。それぐらいやらないと、高知の農業は日本中で、あるいは世界中で太刀打ちできないということです。

海洋コアと農学のIoP、そして防災の分野は、高知になればいけないもの、高知に残らないといけないものだという意識を持っています。

このようなことをしながら、今大学でも希望者は全員留学させたい。1年生の早い時期に背中を押して、できれば東南アジアに行かせたいと思っています。現実的に、あなたたちが見ておかないといけないところを見ておいでという仕組みを考えており、来年ぐらいから始める予定です。地域だけでなく、やはり世界もみないと大学の使命としては不十分です。今後は高知大学の学生はどんどん海外にも行って、その経験を生かして高知県内企業に就職して、高知県全体が元気になるといいなと思っています。

我々は県立大学ではありませんが、高知県にある国立大学法人として、割り切るところは割り切って、うちと工科大と県大と三つで、何とか高知から教養教育をなくさないために連携を始めようとしています。

「きらりと光る地方大学」、最先端の地方大学になるためにも、皆さんの高知大学へのご支援をよろしく願いいたします。

● 幹事報告

- ・IMへの参加のお礼状が届いています。
- ・2月のロータリーレートは1ドル112円です。
- ・書き損じハガキ等々の回収は、次回の例会が締切です。
- ・地球33番地のチャリティバザー用の提供品は2月19日が締切です。
- ・本日例会終了後、定例理事会を行います。



◇ 例 会 変 更 ◇					
高知東RC	2月13日	ロータリー休日(阪)	高知中央RC	2月14日	建国記念日に振替(城)
高知南RC	2月21日	夜間例会(阪)	高知西RC	2月22日	夜間例会(三)
高知北RC	2月25日	炉辺夜間例会(三)	高知RC	2月26日	創立夜間例会(三)
高知北RC	3月11日	ロータリー休日(三)	高知中央RC	3月14日	職場例会(城)
高知RC	3月19日	ロータリー休日(三)	高知ロイヤルRC	3月19日	花見例会に振替(旭)
高知北RC	3月25日→24日	家族合同野外例会(三)	高知ロイヤルRC	3月26日	お泊り例会に振替(旭)
高知東RC	3月27日	花見夜間例会(阪)	高知南RC	3月28日	花見例会(阪)
高知西RC	3月29日	ロータリー休日(三)			

※例会会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

ニコニコ箱

- 松木 裕之 (高松西RC) 今日には楽しいひとときをありがとうございました。「生ピアノ」のロータリーソングで、ソングリーダーをやったときのことを思い出しました。
- 横田 英毅 } 先の職場例会では、右城会員に大変お世話になりました。ありがとうございました。2月2日(土)には、高知RC元会員の方々で県観光特使として来高された皆さまと、久しぶりにご参加の皆さまと楽しい交流ができました。中田会員はじめ女性会員にはお世話になりました。ご参加の現会員の皆さまもありがとうございました。
- 中島 和代 }
- 川崎 敦子 過日1月22日、KUTVテレビ高知さんの日興証券さんプレゼント「STORY」という番組に出演させていただきました。会社の概要や省エネへの取り組みを分かりやすく編集してくださっていたことに感謝し、ニコニコします。ご覧いただいた方々ありがとうございました。私もそれなりに撮っていただきました。
- 森本 道義 1月20日に開催されました33会にて優勝させていただきました。素晴らしいメンバーに恵まれ、楽しくラウンドできたことに心から感謝です。また当日、関裕司先輩から、マレーシアで購入したというミズノのゴルフボールを1ダースいただきました。誠にありがとうございました。併せて感謝し、ニコニコさせていただきます。
- 右城 猛 1月29日は職場例会で、たくさんの会員の皆さまにお越しいただきありがとうございました。
- 関 裕司 夫婦ともども2月は誕生月です。花とBirthday Songありがとうございました。
- 高村 禎二 誕生日のお祝いをしていただきありがとうございました。
- 田岡 弘久 誕生日をお祝いいただきありがとうございました。
- 野々口 秀樹 誕生日を祝っていただきありがとうございました。
- 土倉 義浩 妻の誕生日にお花をお手配いただきありがとうございました。
- 森本 征彦 家内の誕生日に花をありがとうございました。ロータリーで代理に送っていただいたとはいえ、感謝いたします。
- 武樋 泰臣 出がけに不機嫌だった妻が、帰宅したらなぜかごきげんでした。テーブルに誕生日のお花が飾られています。毎年助けられています。お手配ありがとうございました。
- 山崎 広一郎 結婚記念のお祝いをしていただきありがとうございました。
- 安光 保二 結婚記念日を祝っていただきありがとうございました。いつの間にか57年経過しました。

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メークアップ	出席率
2月5日	(-7)92	55	23	7	72.94
1月22日	ロータリー休日				

● 累計額 [2月5日現在]

ニコニコ箱	702,500円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	269,596円	ポリオ募金	283,500円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [2月19日]

ゲストスピーチ
高知大学客員教授
黒笹 慈幾氏
「人生の節目に歩き遍路を」

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>